

工事常識材料の研究と着眼点

建築材料見積の研究（一）

林 有 一

経験の深い林氏が、筆に委せて長い間の研究を此所に趣味的に書き出さんとするのである。總て工事の經營は着眼點が大切である。其の着眼點は林氏の如きでなくては得られない處があると思ふ。才號より精讀を乞ふものである。（編者）

實用の目的で建築の設計をするに當つて、最初に考へなければならぬことは、どんな材料で造るかといふことである、材料なしではどんな建築でも出來ない、即ち建築の全部が材料から成り立つのである。

それと同時に金高をきめなければならぬ生活の資源が無盡藏から湧いて来るならざ知らず、現實社會では一般に金高に制限されるのであるそこで

【見積り】

といふ觀念が必要となつて來る。
されば建築要素の大部分を占むる

材料の見積りを研究
するこゝが先決問題と云はなければならぬ。

建築材料ミート口にいふが、今日では交通の發達の爲に世界のあらゆる地域に產出する材料を利用するこゝが出來て、其種類や數量が驚くべく多數にのほるのであるから、それらの材料に関する智識をもたなければ、要求に應じて各種工事の設計を纏めるこゝは出來ない譯である。

そこで私達は、かういふ見地から、建築材料をさうして見積るか？】といふ研究に着手するのであるが、なるべく理論を避け實用に重きを置き、着實正確に一步一步、讀者と共に

に進んで行きたいと思ふのである。

さてその研究を何から初めるかといふに、我國では何といふても木材が建築の大部分を占めてゐる状況であるから、先づ以て利用範囲の廣い木材の研究にとりかゝり度い」と思ふ。

體さしづめ私達の住んでゐるこの
武藏野を考へて見る。

太古時代即ち今から三千年も前にそこは、鬱蒼たる大森林に蔽はれて、櫻や桜などの潤葉樹が繁茂して居つたのである。それが人類の住むやうになつてから、追々伐り倒されたり焼かれたりして、遂に草原となり牧場となつた。

武船野は月の入るべき山もなし草より出で
、草にこそ入れ
或は太田道灌が説明したやうに

露置かぬ方もありけり夕立の空より廣き武
藏野の原

かういふ曠漠たる原野となつた時代もあつたのである。

今から六百三十年ばかり前に信州から、移住して來た太郎といふ人が、高麗郡笠幡村に四百八十町歩を區割して原野を開墾し、農務に從事する傍ら山林の業を創めた。